



株主の皆様へ

第56期 中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

*Solution
Provider*



ごあいさつ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今上半期、わが国経済は、好調な企業業績や民間設備投資を背景として、さらに雇用環境の改善や堅調な個人消費の回復などから、景気は緩やかに拡大を続けてまいりました。当社の主力事業分野であります自動車業界では、国内生産台数は前年同期並みの水準の一方、海外生産台数は前年を上回り好調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、国内で初めての生産子会社の保有、内外での積極的な投資等、業績拡大のための施策を実行してまいりました結果、期初の計画を上回る実績を達成することができました。引き続き全社員一丸となって、グローバルな事業活動という課題に取組み、会社の業績拡大と経営基盤の強化に努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2007年12月

代表取締役社長 前川 富義

経営理念

開発提案型企業として、
世界のお客様に信頼される会社を実現する。



取締役社長
前川 富義

Contents

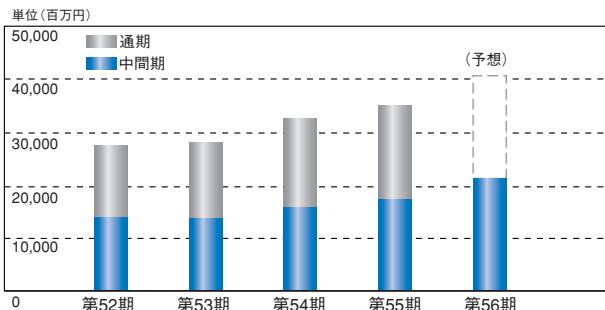
ごあいさつ	1
連結財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
海外子会社の状況	4
中期経営計画	5
連結財務諸表の要旨	7
単体財務諸表の要旨	8
株式の状況	9
会社概要	10

連結財務ハイライト

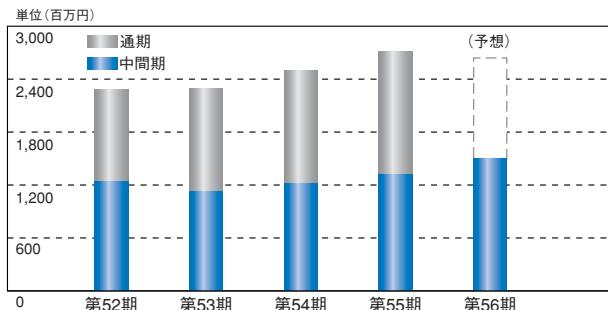
	第52期中間期 平成15年9月期	第53期中間期 平成16年9月期	第54期中間期 平成17年9月期	第55期中間期 平成18年9月期	第56期中間期 平成19年9月期
連結売上高 (百万円)	13,664	13,480	15,601	17,139	21,078
連結経常利益 (百万円)	1,220	1,107	1,199	1,300	1,481
連結中間純利益 (百万円)	673	627	755	772	957
純資産 (百万円)	10,683	12,342	13,635	15,166	17,635
1株当たり中間純利益 (円)	76.16	68.02	80.76	41.08	50.71
1株当たり純資産 (円)	1,207.62	1,322.54	1,453.95	804.67	925.14

※54期末に1:2の株式分割を実施しました。

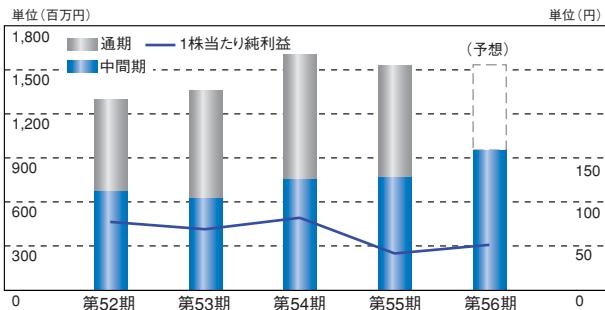
■ 連結売上高



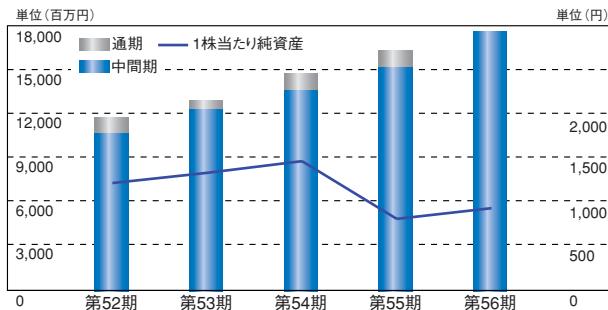
■ 連結経常利益



■ 連結中間(当期)純利益・1株当たり中間(当期)純利益



■ 純資産・1株当たり純資産



※54期末に1:2の株式分割を実施しました。

トップインタビュー

前川社長 に聞く

Q1. 社長になられて最初の決算となりますが

上半期の業績は、計画通りです。自動車部品事業、情報通信事業ともに順調に推移したことにより増収増益を達成できました。自動車部品事業は、国内では新規受注が好調であったこと、海外では日系自動車メーカーの生産の増加によるものです。情報通信部品事業では、海外大手携帯電話機メーカーからの受注が好調でした。

下期は、円高をはじめとして幾つかの懸念材料もありますが、当初、公表させていただきました目標の達成に向けて、グループを挙げて取組んでまいります。

Q2. 新社長としての事業の抱負をお聞かせください

自動車産業を中心に生産体制の海外シフトが急速に進む中、当社は優れた製品とサービスを「グローバルに供給」できるサプライヤーをめざしています。

創業以来、生産設備を自前で持たないファブレス事業を特徴としてきた当社ですが、グローバルなお客様のニーズに対応するため、国内で初めて生産子会社を保有しました。

今後は、従来からの「開発提案機能」に加え、「開発生産機能」を有する企業へ変革して行きます。大きな事業構造の転換であります、会社のさらなる成長発展のためにはどうしても必要なことだと考えています。

Q3. M&Aにより取得した生産子会社の状況はどうですか

最初の決算になる上半期の状況は、売上高、営業利益ともに予定を上回ることができました。新規設備の導入、生産工程や管理体制の見直しなどを積極的に進めた結果、大きな収益性の改善となりました。

同社が保有する高い精密鍛造技術はグローバルな自動車部品市場において、グループの業績拡大に大きく貢献できるものと期待しています。

Interview

海外子会社の状況

米国 (OTUS、OTUSM並びに1支店、2営業所)

当社海外グループの生産、販売の中核として、安定した業績の拡大を続けています。新大型設備の導入も終え、一段と付加価値の高い部品の販売拡大をめざしています。中間期の売上高は、47億34百万円（前年同期比112.6%）、営業利益は3億35百万円（同95.0%）となりました。

タイ (OTT、OST、OTSI)

アセアン地域において、日系自動車メーカーの積極的な進出を背景に、順調に業績を拡大しています。中間期の売上高は、17億84百万円（前年同期比126.4%）、営業利益は2億41百万円（同196.2%）となりました。

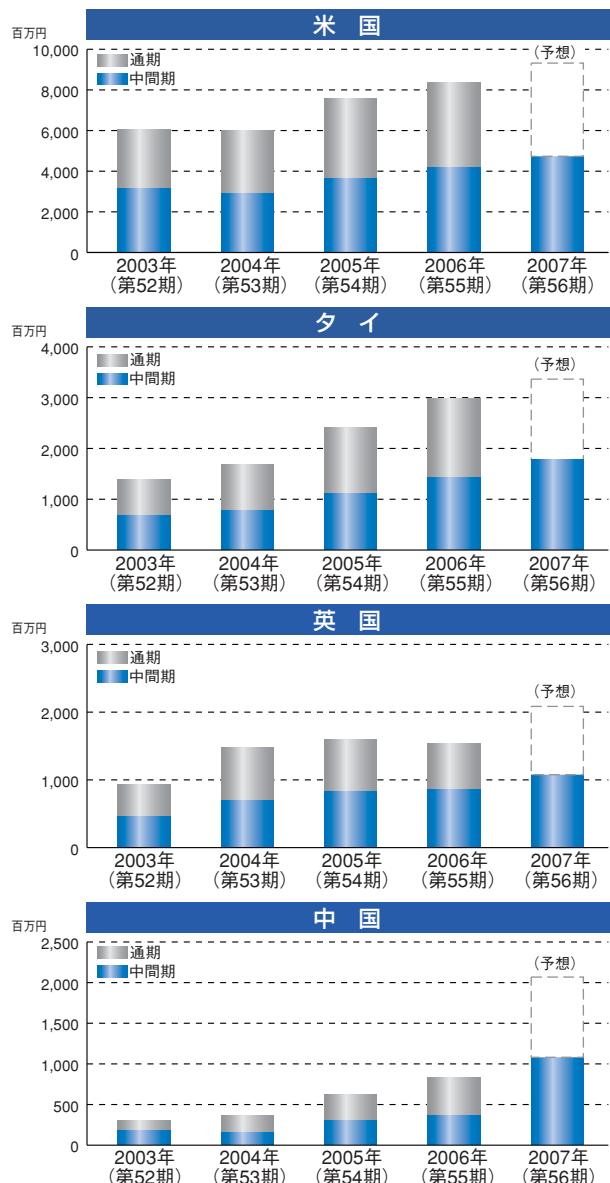
英国 (OTUK、1支店)

1999年の設立以来、自動車部品の販売拠点として安定した成長を続けています。売上高は、10億77百万円（前年同期比125.5%）、営業利益は1億98百万円（同172.5%）となりました。

中国 (OTSH、OTPS、OTPG並びに1支店)

携帯電話機用ヒンジの生産・販売子会社のOTSH（上海）、自動車部品販売会社であるOTPS（上海・広州）、自動車部品の製造・販売会社であるOTPG（広州）からなります。中国グループ合計の中間期の売上高は10億75百万円（同301.9%）となりました。

■ 売上高推移



中期経営計画「グローバル600」について

1 経営理念・経営方針

経営理念

開発提案型企業として
世界のお客様に信頼される
会社を実現する。

経営方針

- 1.グローバルな企業として、さらなる発展をめざす
- 2.開発機能を強化し、卓越した強みを創造する
- 3.人と社会の発展に貢献する

2 中期経営計画「グローバル600」推進の基本方針

グローバルな業績拡大

- 現事業拠点のさらなる強化
- 新たな事業拠点の展開

ファブレス＆ファクトリー

- 開発製造機能の強化
- 新たな調達戦略

戦略的な拡大投資

- 開発（製品・技術）
- 設備
- 人材

当社では、このたび2011年度を最終年度とした中期経営計画「グローバル600」を策定いたしました。当社の主力事業分野である自動車部品業界において今後の事業拡大のためには、グローバルマーケットでのお客様のニーズに対応できる事業体制を構築することが絶対の条件であります。本年4月、当社グループの海外子会社にサポートできるマザー機能として、国内で初めてM&Aにより製造子会社を保有しました。創業以来の事業構造を大きく転換させたこの機会に、今後の進むべき方向を明確化し、次世代への一段の成長と発展を目指すため、中期経営計画「グローバル600」を策定いたしました。

3 事業戦略と経営目標

販 売 戰 略

成長のための条件	重 点 施 策
グローバル サプライヤー としての地位の 獲得	<ol style="list-style-type: none"> グローバルな供給体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> 現地生産体制の強化 新事業拠点の展開 グローバルな販売戦略の展開 <ul style="list-style-type: none"> 卓越技術を活用した販売戦略 新規顧客の開拓

調 達 戰 略

成長のための条件	重 点 施 策
真に競争力の ある調達基盤の 構築	<ol style="list-style-type: none"> パートナーシップの強化 <ul style="list-style-type: none"> 資本交流による関係強化 人的交流による関係強化 M&Aの推進 <ul style="list-style-type: none"> コア技術保有メーカーのグループ化 新規調達先の開拓 <ul style="list-style-type: none"> 卓越技術保有先の発掘 グローバル調達の推進

開 発 戰 略

成長のための条件	重 点 施 策
既存技術の 用途開発	<ol style="list-style-type: none"> 圧入プロジェクションの新用途開発 携帯用ヒンジ技術の新用途開発
新たな技術の 開発	<ol style="list-style-type: none"> 精密冷間鍛造技術を活用した新製品開発 環境、低燃費、安全ニーズに対応した製品・技術開発

中期経営計画「グローバル600」の目標

グループ目標	55期実績 (2006年度)	60期計画 (2011年度)
売上高	348億円	600億円
営業利益	25億円	50億円
経常利益	26億円	50億円
当期純利益	15億円	30億円

本文中の目標数値は業績予想ではありません。また、本文中の将来に係わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、既知・未知のリスクや不確実な要素が含まれています。さまざまな要因の変化により、実際の結果は、これら記述内容と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

※なお中期経営計画「グローバル600」の詳しい内容につきましては当社ホームページ（www.ohashi.co.jp）をご覧ください。

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

第55期中間期 第56期中間期
平成18年9月30日 平成19年9月30日

資産の部		
流動資産	19,073	20,995
現金・預金	6,717	6,818
受取手形及び売掛金	8,457	9,586
たな卸資産	3,398	3,916
繰延税金資産	272	323
その他	276	369
貸倒引当金	△ 48	△ 18
固定資産	6,960	9,640
有形固定資産	3,680	5,981
無形固定資産	540	1,301
投資その他の資産	2,739	2,357
投資有価証券	442	468
繰延税金資産	312	317
長期性預金	1,100	600
その他	889	976
貸倒引当金	△ 5	△ 4
資産合計	26,033	30,635

(単位:百万円)

第55期中間期 第56期中間期
平成18年9月30日 平成19年9月30日

負債の部		
流動負債	10,088	12,068
支払手形及び買掛金	8,659	10,373
未払法人税等	443	536
賞与引当金	171	207
役員賞与引当金	31	40
その他	783	910
固定負債	779	931
退職給付引当金	500	529
役員退職慰労引当金	258	208
その他	20	193
負債合計	10,867	12,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810	1,825
資本剰余金	1,595	1,611
利益剰余金	11,364	12,704
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	14,769	16,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	53
為替換算調整勘定	304	1,280
評価・換算差額等合計	380	1,334
少数株主持分	16	160
純資産合計	15,166	17,635
負債純資産合計	26,033	30,635

(単位:百万円)

(単位:百万円)

第55期中間期 第56期中間期
自平成18年4月 1日 自平成19年4月 1日
至平成18年9月30日 至平成19年9月30日

売上高	17,139	21,078
売上原価	13,008	16,298
売上総利益	4,131	4,779
販売費及び一般管理費	2,908	3,298
営業利益	1,222	1,481
営業外収益	87	159
営業外費用	9	23
経常利益	1,300	1,618
特別利益	99	24
特別損失	59	35
税金等調整前中間純利益	1,340	1,608
法人税、住民税及び事業税	559	643
法人税等調整額	23	0
少数株主利益	△ 14	9
中間純利益	772	957

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

第55期中間期 第56期中間期
自平成18年4月 1日 自平成19年4月 1日
至平成18年9月30日 至平成19年9月30日

営業活動によるキャッシュ・フロー	360	1,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,631	△ 1,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 217	△ 217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 25	48
現金及び現金同等物の増加額	△ 1,514	177
現金及び現金同等物の期首残高	8,231	6,641
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,717	6,818

連結株主資本等変動計算書 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計
平成19年3月31日残高	1,814	1,599	11,936	△ 0	15,349	70	742	813	132	16,295
中間連結会計期間中の変動額										
新株の発行	11	11			23					23
剰余金の配当			△ 188		△ 188					△ 188
中間純利益			957		957					957
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 17	537	520	28	548
中間連結会計期間中の変動額合計	11	11	768	—	791	△ 17	537	520	28	1,340
平成19年9月30日残高	1,825	1,611	12,704	△ 0	16,141	53	1,280	1,334	160	17,635

注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表の要旨

単体貸借対照表

第55期中間期 第56期中間期
平成18年9月30日 平成19年9月30日

資産の部		
流動資産	14,499	13,726
現金・預金	4,903	3,837
受取手形	770	808
売掛金	7,347	7,534
たな卸資産	1,098	1,068
繰延税金資産	115	144
その他	292	348
貸倒引当金	△27	△14
固定資産	8,061	10,279
有形固定資産	739	659
無形固定資産	448	367
投資その他の資産	6,872	9,252
投資有価証券	2,626	468
関係会社株式	—	3,938
長期貸付金	519	1,176
繰延税金資産	285	279
長期性預金	1,100	600
敷金保証金	239	235
その他	2,109	2,560
貸倒引当金	△6	△6
資産合計	22,560	24,005

(単位:百万円)

単体損益計算書

(単位:百万円)

第55期中間期 第56期中間期
自平成18年4月 1日 自平成19年4月 1日
至平成18年9月30日 至平成19年9月30日

売上高	13,063	13,891
売上原価	10,409	11,121
売上総利益	2,654	2,770
販売費及び一般管理費	1,954	1,981
営業利益	699	789
営業外収益	256	495
営業外費用	8	8
経常利益	948	1,276
特別利益	99	20
特別損失	58	10
税引前中間純利益	988	1,286
法人税、住民税及び事業税	337	382
法人税等調整額	9	14
中間純利益	642	889

株主資本等変動計算書 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	純資産合計
平成19年3月31日残高	1,814	1,599	9,520	△0	12,933	70	70	13,004
中間会計期間中の変動額								
新株の発行	11	11	—		23			23
別途積立金の積立て			—		—			—
剰余金の配当			△188		△188			△188
中間純利益			889		889			889
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△17	△17	△17
中間会計期間中の変動額合計	11	11	701	—	724	△17	△17	706
平成19年9月30日残高	1,825	1,611	10,221	△0	13,658	53	53	13,711

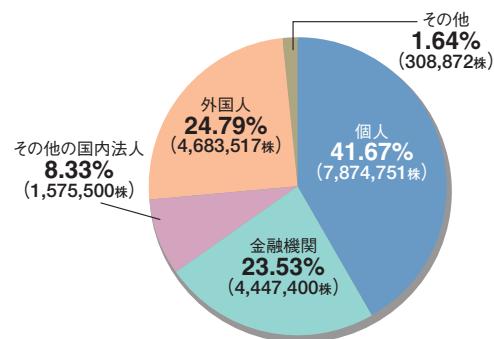
注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成19年9月30日現在)

■会社が発行する株式の総数	64,000,000株
■発行済株式総数	18,890,040株
■資本金	18億2,567万円
■株主数	5,556名
■大株主	
バンク オブ ニューヨーク ジー シーエム	2,298,600株 12.16%
株式会社みずほ銀行	881,000株 4.66%
モルガンスタンレー アンド カンパニー インターナショナル	840,800株 4.45%
古尾谷 健	761,720株 4.03%
日本生命保険相互会社	760,000株 4.02%
オーハシテクニカ取引先持株会	522,400株 2.76%
久保 好江	509,780株 2.69%
久保 雅嗣	509,780株 2.69%
阿部 泰三	502,600株 2.66%
日本トラスティーサービス 信託銀行株式会社 (信託口)	498,100株 2.63%

■所有者別株式分布状況



株主の皆様のためのIR情報

①中間配当の実施

今期も、予定通り中間配当を実施いたします。今中間期の配当金は、1株当たり10円となります。

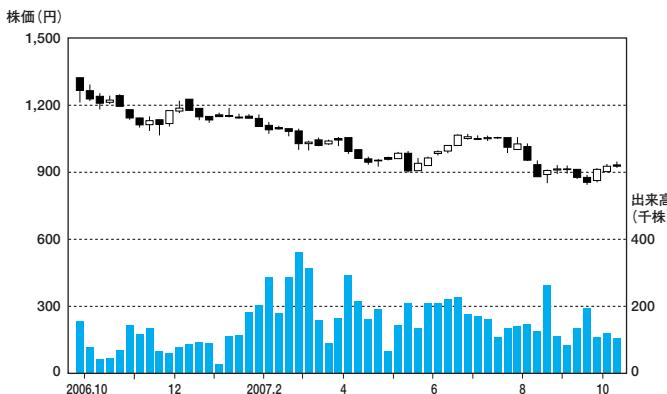
②中間時の株主優待の実施

期末並びに中間期末の株主の皆様に対して、「お米ギフト券」をお送りさせていただいております。お手持ち株数に応じて、お送りする優待券の内容は、次の通りです。

(中間期及び期末それぞれ)

100株以上	1,000株未満	お米ギフト券 1kg
1,000株以上	5,000株未満	お米ギフト券 2kg
5,000株以上	10,000株未満	お米ギフト券 3kg
10,000株以上		お米ギフト券 5kg

■株式チャート (平成18年10月～平成19年9月)



会社概要 (平成19年9月30日現在)

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1
創業	1946年(昭和21年)11月 1953年(昭和28年)3月 株式会社に改組
資本金	18億2,567万円
社員数	グループ合計 1,144名、単244名
当社グループの事業内容	①自動車、情報、通信を中心とした組立産業の各種製品に使用される要素部品等の企画・設計開発・製造並びに販売 ②上記にかかる物流並びに輸出入業務
役員	代表取締役社長 前川 富義 取締役 久保田 忠 取締役 柴崎 衛 取締役 古性 人 取締役 小林 駿 取締役 黒澤 一郎 取締役 菊地 孝 取締役 相談役 一健 常勤監査役 青山 徹 監査役 三好 弘 監査役 口澤 弘 上席執行役員 堀内 夫 上席執行役員 田中 次 執行役員 豊田 春 執行役員 杉岡 郁 執行役員 杉岡 孝 執行役員 杉岡 和 執行役員 杉岡 之



国内事業ネットワーク

本社	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
営業店	神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ2階
	群馬県太田市西矢島581-6
	栃木営業部 栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル5階
	日立営業部 茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201
	首都圏第一営業部 東京都国立市谷保3999-6
	首都圏第二営業部 東京都国立市谷保3999-6
	首都圏第三営業部 東京都国立市谷保3999-6
	名古屋支店第一営業部 愛知県高浜市小池町2-15-10
	名古屋支店第二営業部 愛知県高浜市小池町2-15-10
	浜松営業部 静岡県浜松市篠ヶ瀬町502-1
	大阪営業部 大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階
S B 統括部	静岡県浜松市有玉台1-6-25
	情報通信事業部 東京都港区虎ノ門3-7-2
調達部	調達技術企画グループ 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
	東京第一調達部 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
	東京第二調達部 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
	日立調達部 茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201
	諏訪調達部 長野県諏訪市沖田町1-96-2 広瀬橋Sビル
	名古屋調達部 愛知県高浜市小池町2-15-10
	大阪調達部 大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階

海外事業ネットワーク

米国	OHASHI TECHNICA U.S.A. INC. TENNESSEE BRANCH INDIANA SALES OFFICE GEORGIA SALES OFFICE
タイ	OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING INC. OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO.,LTD. OHASHI SATO (THAILAND) CO.,LTD. OHASHI S.I.(THAILAND) CO.,LTD.
英国	OHASHI TECHNICA UK, LTD. NORTH EAST SALES OFFICE
欧洲	OHASHI TECHNICA FINLAND LTD.
中国	大橋精密電子(上海)有限公司 大橋精密件(上海)有限公司 廣州分公司 大橋精密件制造(廣州)有限公司

国内関係会社

オーハシ技研工業株式会社	愛知県東海市南柴田町トの割266-21
(株)オーティーシーロジスティクス	東京都国立市谷保3999-6
(株)オーティーシートライボロジー研究所	東京都新宿区西新宿2-3-1



<http://www.ohashi.co.jp>

株式メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
配 当 金 受 領 期末配当 每年3月31日
株 主 確 定 日 中間配当 每年9月30日
定 時 株 主 総 会 每年6月中
基 準 日 每年3月31日および中間配当の支払を行うときは9月30日
その他の必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
公 告 方 法 電子公告によるものとします。
株 主 名 簿 管 理 人 東京都港区芝3丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
証券代行事務センター(〒168-0063)
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 日本各支店
日本証券代行株式会社 本支店

 **OHASHI**
OHASHI TECHNICA, INC.
株式会社オーハシテクニカ

(証券コード:7628)

〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1新宿モノリス21階
TEL.03-5321-3411 (代)



この報告書は、エコマーク認定の古紙配合率100%の再生紙を使用し、アロマフリーティプ大豆インキで印刷されています。